

ぎ建交労 とちぎ

発行所 全日本建設交運一般労働組合

栃木県本部 〒327-0315

栃木県佐野市吉水駅前1-2-1

Tel 0283-62-7312 fax 0283-62-7318

http://www.kenkourou.or.jp/

E-mail: DQJ06744@nifty.com

組合を大きくする運動に取り組めます まだ組合を知らない仲間を紹介してください



新しく組合員になった仲間と青柳翔太さん(中央)。

青柳さんはダンプ組合員で過労死認定された青柳武さんのご長男です。

組合員からの仲間紹介絶賛大募集中です。
☆ ☆ ☆
先日二八歳の大工組合員青柳翔太さんから「仲間を紹介したい」と電話をいただきました。

一歳の若手職人「某大手運送会社で働いていました。将来性を考えて職人の世界に入りました」。
職人の世界も深刻な人手不足が続いています。その一方で、安定よりもやりがいを求める挑戦する若者もいます。

労災や確定申告など、様々な問題を抱えています。相談できるところを知らない人もたくさんいます。
年末年始仲間と集まる機会に、組合を話題にしてください。

消費税・インボイス学習会も開催
第38回ダンプ支部定期大会
十一月十一日(日)、佐野市あくとプラザ小ホールで、第三十八回栃木ダンプ支部定期大会を七十四人が参加し開催しました。

来賓としてご出席いただいた全労済足利支所の富所支所長は、今年各地で発生した大規模災害の事例を紹介し、自然災害への備えの重要性を訴えました。

川田副委員長が経過報告、石井書記次長が運動方針を提案しました。方針のなかで強調したのは、安倍内閣が来年一〇月から引き上げる消費税増税問題の取り組みです。



1年間の活動を報告、方針を採択しました。

栃木県労連の阿波議長はダンプ支部の組織拡大に触れ「組合は数こそ力です。さらなるご奮闘を」と激励していただきました。

この問題では、山内書記長が学習会を開催、増税だけでなく、インボイス制度についても説明しました。



集会とパレードに参加した組合員。

次世代のためにも、すべての原発の廃炉をめざします。

東海第二原発再稼働反対 「さよなら原発・栃木アクション」

十一月十一日宇都宮市城址公園で「さよなら原発・栃木アクション」が開催され約一五〇〇人が参加、組合からも家族を含め人が参加しました。

福島第一原発の事故から七年が過ぎましたが、悲劇は進行形です。運動を強めよう。

運転席から救出 ドライバークの連帯

組合員小山聡さんは、一〇月、重機回送のためトレーラーで岐阜県恵那市の国道一九号線を走行中、対向してきた四トントラックがセーターラインをオーバーし正面衝突。小山さん

運転席の高いボルボだから助かったという説も。



「もし事故を見たら俺も止まってできることをしたい」と小山さん。

手席をこじ開け、血まみれの小山さんを引きずり出します。寒さに震え意識の朦朧としていた小山さんに毛布をかけ、救急車が来るまで付き添ってくれました。助けてくれたドライバークに連絡先を聞きましたが、教えてもらえませんでした。

要介護認定で 障害者控除申請

家族が介護保険の対象になる組合員が増えていきます。

要介護に認定された方は、所得税、住民税の障害者控除の対象になります。

控除を受けるには自治体に「障害者控除対象者認定書」を申請する必要があります。認定書は自動的に発行されません。年内に認定されれば来年の確定申告から控除を受けることができます。お問い合わせください。

【組合員紹介】佐藤雄一さん（六九歳） アスベスト被害者に 国は全面救済を

佐藤雄一さん（那須塩原市）は、50年以上タイル職人として働いてきました。

現場では昭和五十年から原則使用禁止になりました。

しかし、佐藤さんが若いころはまだ普通に使用されており、その危険性も指摘されていませんでした。

家、ビルなど建物の壁にタイルを貼ったり、古くなったタイルを貼り替える仕事です。

まっすぐ線を引き、同じ高さでタイルを貼っていくのは難しく、熟練の技が求められます。

また、タイルの色、形など施工する場所にに応じてデザインするセンスも必要です。

中学卒業後、地元のタイル業者に就職し、職人として様々な現場で技術を習得、三〇才のときに独立します。

その後一時期内装工事の会社に就職しますが、平成七年から再び一人親方として働いてきました。

平成二十一年、鼻の手術のため入院したとき、肺の検査でアスベスト（石綿）による影響が確認されました。

アスベストは悪性中皮腫、肺がんを起こす可能性が指摘され建築現場で推計されています。

国交省はアスベストが使用された可能性のある建物は、民間だけでも二八〇万棟存在すると推計しており、二〇二八年前後にそれらの解体工事のピークがくると推計されています。

現場では昭和五十年から原則使用禁止になりました。

今年、建設アスベスト訴訟で東京高裁、大阪高裁ともに、国の一人親方への責任が認められ、救済拡充の流れは生まれています。

現場では昭和五十年から原則使用禁止になりました。

しかし、佐藤さんが若いころはまだ普通に使用されており、その危険性も指摘されていませんでした。

解体工事にかかわる組合員だけの問題ではありません。

佐藤さんは毎年2回無料で肺機能検査を受けています。現在のところ自覚症状はありませんが、結果はあまりよくありません。

組合では当面、健康管理手帳の申請に取り組んでいます。

職歴等で不安のある方はご相談ください。

国は「石綿救済法」を制定しましたが、その内容は極めて不十分です。特に特別加入労働災に加入していない一人親方や中小事業主については、救済給付

に格差をつけています。組合では毎年「じん肺キヤラバン行動」のなかで栃木県、労働局にたいしても救済制度の抜本的な拡充を求めます。

国交省はアスベストが使用された可能性のある建物は、民間だけでも二八〇万棟存在すると推計しており、二〇二八年前後にそれらの解体工事のピークがくると推計されています。

現場では昭和五十年から原則使用禁止になりました。

しかし、佐藤さんが若いころはまだ普通に使用されており、その危険性も指摘されていませんでした。

解体工事にかかわる組合員だけの問題ではありません。

古い自動車への増税に納得しない男の進行形連載 自動車税払わん⑦

十月下旬、私の勤務先に県税事務所から「給与等の支給状況について」と題する文書が届きました。給与を差し押さえるための調査です。住民税等で職場を調べたのでしょうか。

給与差押予告 警告

あなたの納付すべき税額について、再三にわたり自主納付の催告をしてきましたが、いまだ納付が確認できません。

勤務先への調査中

あなたの勤務先に対し、給与の支払い状況等を調査・照会しています。納付も連絡もない場合は、調査の回答がありしだい給与を差押えます。

だんだん迫力が出てきました

から、自分にたいする差押え調査への協力を自分で判断するということもうつづく

被害者増の危機
建材メーカーは、アスベストの危険を知りながら安全性をアピールし大量販売してきました。また国は、メーカーの要請を受け耐火建材として使用を促進してきました。



佐藤さんにタイルカッターを見せていただきました。

「コストカッター」などと言われ大量の労働者の首を切り、不当に膨大な私腹を肥やしたフランス人が逮捕されました。問題の本質は、組織内民主主義の不在だと思えます。さよならカルロス。